



① 東ハト
関東工場
柳沢 光明さん

① 東ハト関東工場の皆さん。「三芳町は地盤が固く水はけが良いので地震や水害に強いのも魅力」と柳沢さんは話します。② 誰もが知る看板商品「キャラメルコーン」を製造しているところ。③ 焼きあがる前の「オールレーズン」。



広 々とした畑が続く上富地区。その風景に調和するようにたたく薄緑色の工場が株式会社東ハトの関東工場です。キャラメルコーンやポテコなど誰もが知るお菓子を作っている唯一の製造拠点。昭和42年（1967年）に現在の場所に工場を竣工し、今年で57年目を迎えました。「三芳町は東京に近く、スマートICもフル化して、物流に強いのが魅力だと感じていま



「おいしい〜」で
幸せ広がる町

株式会社東ハト×上富地区

お菓子がつなぐ 地域と笑顔

キャラメルコーンやポテコ、ハーベストなど、誰もが知るお菓子を製造している「株式会社東ハト関東工場」。上富地区で50年以上操業を続け、地域のお菓子工場として地元の人々への貢献を続ける、その取り組みについて聞きました。

上の写真：東ハト関東工場に社会科見学を訪れた上富小学校3年生の子どもたち。

「上富愛」のおいしさ

「す」と話すのは東ハトの柳沢さん。工場だけでなく物流センターも町内に構え、作りたてのお菓子を三芳町から全国へ届けています。

上富地区で操業を続け、長い歴史を持つ東ハト関東工場。その「地元愛」から、「コラボ商品を期間限定で製造しています」「上富産の富の川越いもを使ったクッキーやスナック菓子です。お客さんからもおいしいと好評なんです」と笑顔を見せる柳沢さん。次の販売も楽しみに待っていてほしいと話します。

お菓子×わくわく×学び

お菓子を通して地域とつながる東ハトの取り組みは、地元の小学

上富小学校の子どもたちを招待!



毎年秋に行われる上富小学校の社会科見学。地元上富のつながりで、小学校で唯一東ハト関東工場の見学を行っています。上：工場内でお菓子が作られる様子を見学。中：お菓子作りの説明を聞く子どもたち。下：楽しみながら学びました。



生の学びにも広まっています。10月10日(木)、お菓子の甘い香りに包まれた工場に、子どもたちの姿がありました。この日は上富小学校3年生の社会科見学の日。「地域の学校の学びに貢献したい」という想いから毎年工場に招待しています。子どもたちはクッキーや

スナック菓子が生まれる様子を間近で見学。楽しみながらものづくりについて学び「お菓子ができあがる様子を見てわくわくした」と目を輝かせました。「地元の小学生の楽しい思い出になってほしい」という工場の皆さんの願い……。その言葉のとおり、子どもたちの記憶に残り続ける楽しい学びの場となりました。

MADE IN 東ハト

地域のお菓子工場として地元の人々と関わり続けている東ハト関東工場。柳沢さんは「これからも三芳町の皆さんに貢献していきたいです」と抱負を語ります。皆さんも「三芳町生まれ」の東ハトのお菓子を味わってみてはいかがでしょうか。

さつまいもとお菓子で 上富の味力を発信!

毎年9月末に上富地区で開催される「世界のいも掘りまつり」では、来場者へのプレゼントとして東ハトのお菓子を提供。いもとお菓子で上富の味力を多くの人にPRしています。



期間限定商品、富の川越いもを使ったクッキー「ソルティ」。今回の発売をお楽しみに。